

# 長野県広域受援計画について

## 1 目的

大規模災害発生時に国及び他県等から広域的な人的、物的応援を円滑に受け入れ、被災市町村に迅速に届けるために、後方支援を行う広域防災拠点の配置や受援業務の明確化など具体的な受援体制を構築します。

## 2 検討スケジュール

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度以降
事業内容	広域受援計画基本構想	広域受援計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練による検証、見直し</li> <li>・関連計画の修正</li> <li>・市町村受援計画策定支援</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域防災拠点配置ゾーン設定</li> <li>・受援が必要な活動の抽出 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域防災拠点施設の選定</li> <li>・機能別活動の具体化</li> </ul>	

## 3 検討体制

検討委員会	<b>【委員長】</b> 秦山梨大学准教授 学識者 4 名、内閣府（防災担当）、国土交通省中部地方整備局、 上田市、下諏訪町、県 計 10 名
-------	---

※専門部会、広域防災拠点WGを設置し、部局、市町村、関係機関も含め具体的な検討を実施

## 4 長野県広域受援計画の構成

長野県広域受援計画の構成は下記のとおりです。

第 1 章	総則	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域受援計画の基本的な考え方</li> <li>・災害対策本部室内に「応援・受援本部」の設置 (&gt;ポイント1)</li> </ul>
第 2 章	広域防災拠点計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・救助活動拠点、広域物資輸送拠点などの施設の選定</li> <li>・拠点の開設手順、運用などの明確化 (&gt;ポイント2)</li> </ul>
第 3 章	機能別活動計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・16 の機能別活動計画の対応の流れ及び調整窓口の明確化 (&gt;ポイント3)</li> </ul>
第 4 章	今後の継続的な検討方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広域受援計画の継続的な見直し</li> <li>・市町村受援計画策定の支援</li> <li>・広域防災拠点の運用の具体化、施設等の整備検討</li> <li>・関係機関との連携強化</li> </ul>
第 5 章	検討委員会における検討経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・検討体制、検討経緯</li> </ul>

## 5 長野県広域受援計画（案）のポイント

### ポイント1 災害対策本部室に「応援・受援本部」の設置

「応援・受援本部室」に「物的調整担当」「人的応援・受援担当」「広域防災拠点担当」を設置し、受援に関する窓口を明確化し、意志決定の迅速化、負担軽減を図ります。（図1）

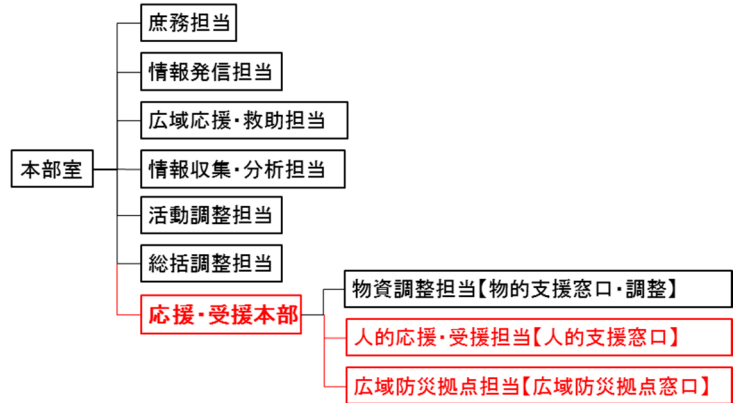


図1 災害対策本部室組織図

### ポイント2 広域防災拠点計画の策定

#### (1) 広域防災拠点の機能

広域防災拠点は、概ね被災地域外に設置し、広域応援部隊の受入れや物資の分配などを行う後方支援拠点です。

（図2）

#### (2) 広域防災拠点の配置ゾーンの設定等

県内においていかなる災害（図3-1、図3-2）に対しても対応出来るよう広域防災拠点施設を配置する地域（ゾーン）を5ゾーン設定しました。

・「長野」「松本」「上田・佐久」「諏訪」「伊那・飯田」（図3-3）

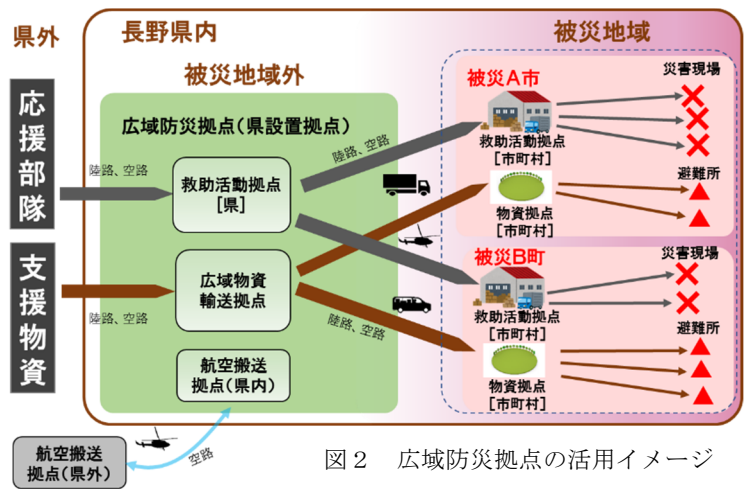


図2 広域防災拠点の活用イメージ

3方面からのアクセスを確保  
 ●北陸方面から長野地域  
 ●北関東方面から上田・佐久地域  
 ⇒大北、松本地域を支援  
 ●中部方面から伊那・飯田地域  
 ⇒諏訪地域を支援

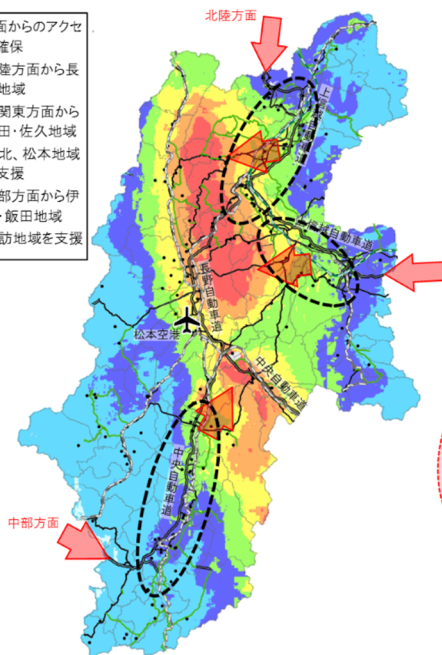


図3-1 糸魚川静岡構造線断層帯地震

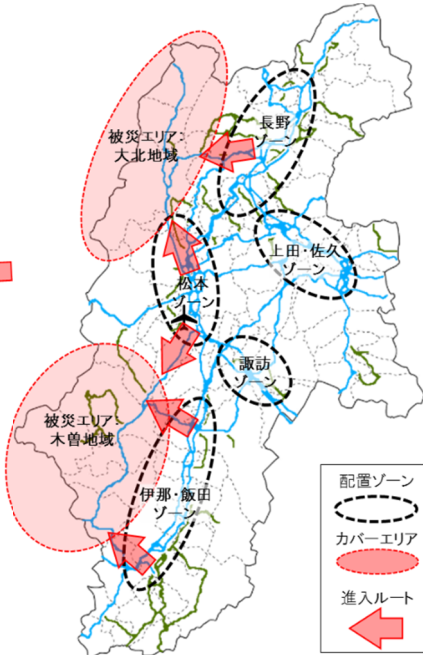


図3-2 大北・木曾地域被災

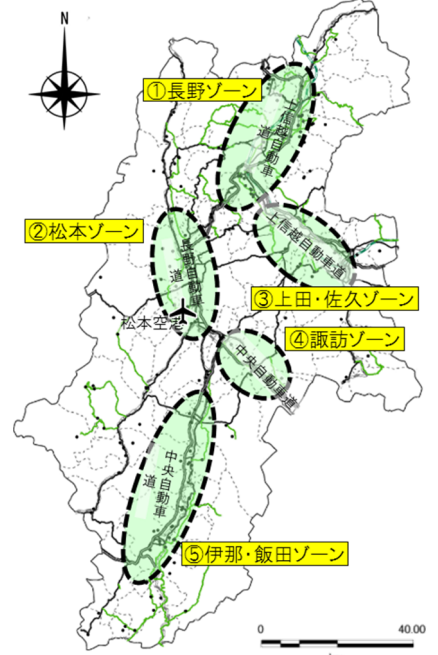


図3-3 配置ゾーン

※配置の考え方は、①想定災害に対し複数のゾーンを確保、②県外各方面から集結しやすい高速道路、空港の交通アクセスの良い地域、③被災地域で十分な災害対応の活動時間が確保できる地域としました。

(3) 広域防災拠点施設の選定（別紙「主な広域防災拠点一覧表」参照）

①救助活動拠点

- ・松本平広域公園、飯田運動公園、下諏訪町赤砂崎公園など 全24箇所

②広域物資輸送拠点

- ・県立武道館、ビッグハット、伊那市民体育館など 全21箇所

③航空搬送拠点

- ・県営松本空港、災害拠点病院周辺のヘリポート9箇所 全10箇所

(4) 広域防災拠点運用計画の策定

広域防災拠点施設の開設、連絡調整、運営体制などをまとめ、運用計画を策定しました。

**ポイント3** 機能別活動計画の策定

受援が必要な16の機能別活動計画の明確化（図4）

・基本構想で抽出した16の機能別活動計画を明確化するため、活動を時系列に示した行動計画を作成しました。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
救助・消防・救命活動	航空医療搬送	緊急輸送ルート確保	行政職員支援	建物応急危険度判定・宅地危険度判定	避難所運営支援	住宅の被害認定調査・罹災証明交付支援	災害ボランティア・NPO等の活動調整	遺体の対応	災害廃棄物等の処理	その他技術・専門職員支援	物資の確保	物資流通	救護所支援・保健指導支援・医療機関支援	要配慮者対応支援	緊急車両・優先給油所施設への燃料供給

図4 16の機能別活動計画の構成

6 今後の展開

(1) 広域受援計画の継続的な見直し

- ・計画の実効性を高めるため、訓練などを実施し、継続的に改善の実施
- ・業務継続計画との整合、他の都道府県における大規模災害の検証などの知見を取入れ

(2) 広域防災拠点施設の運用の具体化

- ・市町村、関係機関及び地域振興局と連携し、施設毎に運用を具体化
- ・施設毎に設備整備の必要性等を検討

(3) 関係機関との連携

- ・平時より、関係機関と具体的な受援業務内容を検討、整理し、実効性を向上

(4) 市町村受援計画策定の支援

- ・市町村が策定する受援計画の「標準形」を作成し、策定を支援

## 主な広域防災拠点一覧表

救助活動拠点		
配置ゾーン	施設名	管理者名
長野	南長野運動公園	長野市
	長野運動公園	長野市
	臥竜公園等	須坂市
	北信濃ふるさとの森文化公園	中野市
	道の駅「オアシスおぶせ」	小布施町
	飯綱町民会館	飯綱町
	川中島古戦場史跡公園	長野市
	篠ノ井中央公園	長野市
松本	長野県松本平広域公園	長野県
	道の駅「小坂田公園」	塩尻市
	豊科南部総合公園	安曇野市
上田・佐久	東御中央公園	東御市
	駒場公園	佐久市
	乙女湖公園	小諸市
	上田市自然運動公園	上田市
	雪窓公園	御代田町
諏訪	茅野市運動公園	茅野市
	赤砂崎公園	下諏訪町
	鳥居平やまびこ公園	岡谷市
	岡谷湖畔公園	岡谷市
伊那・飯田	長野県飯田運動公園	長野県
	伊那市防災コミュニティセンター等	伊那市
	伊那公園	伊那市
	大芝公園	南箕輪村
全24箇所(県2箇所、市町村22箇所)		

航空搬送拠点		
配置ゾーン	施設名称	管理者名
長野	犀川第2緑地	長野市
	中野市営球場	中野市
松本	県営松本空港	長野県
	豊科南部総合公園	安曇野市
上田・佐久	千曲川スポーツ交流広場	佐久市
	上田古戦場公園	上田市
諏訪	赤砂崎公園	下諏訪町
	茅野市運動公園	茅野市
伊那・飯田	大芝公園	南箕輪村
	長野県飯田運動公園	長野県
全10箇所(県2箇所、市町村8箇所)		

広域物資輸送拠点		
配置ゾーン	施設名	管理者名
長野	エムウェーブ	長野市
	ホワイトリング	長野市
	ビッグハット	長野市
	豊野体育館	長野市
	戸倉体育館一帯	千曲市
	飯綱町民会館	飯綱町
	松本	松本市防災物資ターミナル
やまびこドーム(松本平広域公園)		長野県
梓川体育館		松本市
山形村農業者トレーニングセンター		山形村
上田・佐久	県立武道館	長野県
	東御中央公園	東御市
	佐久創造館	長野県
	雪窓公園	御代田町
	上田市自然運動公園	上田市
	立科体育センター	立科町
諏訪	岡谷市民総合体育館	岡谷市
	茅野市運動公園	茅野市
伊那・飯田	サンアリーナ	中川村
	伊那市民体育館	伊那市
	大芝公園	南箕輪村
全21箇所(県3箇所、市町村18箇所)		

市町村別施設数	
長野市:9箇所、須坂市:1箇所、中野市:2箇所、千曲市:1箇所、小布施町:1箇所、飯綱町:1箇所	
松本市:2箇所、塩尻市:1箇所、安曇野市:1箇所、山形村:1箇所	
東御市:1箇所、佐久市:2箇所、小諸市:1箇所、上田市:2箇所、御代田町:1箇所、立科町:1箇所	
茅野市:1箇所、岡谷市:3箇所、下諏訪町:1箇所	
伊那市:3箇所、中川村:1箇所、南箕輪村:1箇所	
22市町村:38箇所	
長野県:5箇所	
実数 全43箇所	
延べ 全55箇所	